

Information

学会・研究会等 発表実績

学会・掲載雑誌名等	発表日	開催地	演題名	部署/発表者名
第4回 高知県泌尿器科会	1月20日	高知県	非筋層浸潤性膀胱癌に対する経尿道の一塊切除術の初期経験	医局/廣田圭祐
第32回 四国作業療法士学会	1月29日	WEB	作業療法士の介入による入院患者の行動改善の検討	リハビリテーション部/山本美保
第2回 高知腎臓病療養指導セミナー	2月9日	高知県	高カリウム血症への当院の取り組み～薬剤師の立場から～	薬剤部/堀切雅子
第49回 高知県透析研究会	2月26日	高知県	透析患者の足病変に関する看護師の理解度調査	透析室看護師/徳平理絵
			災害リテラシーの向上を目指して	安芸診療所/久保三希
			血清アルブミンにおけるBCG法とBCP改良法の比較検討	臨床工学部/濱田龍一
			当院の透析中運動療法の取り組みとその効果	リハビリテーション部/北村翔太
			血尿を主訴に移植腎腫瘍が疑われた維持透析患者の1例	医局/吉道丈
第13回 日本腎臓リハビリテーション学会学術集会	3月18日	埼玉県	当院の透析中運動療法の取り組みとその効果	リハビリテーション部/島崎由宇
第49回 日本血液浄化技術学会 学術大会・総会	4月22日	沖縄県	後希臘On-line HDFにおけるMFX-21SWecoの溶質除去特性	臨床工学部/中澤貴広
			DCS-100NXモニタリング機能であるLDQbの長期活用経験	臨床工学部/細川和宣
			Phase angle(位相角)低値へのアプローチを考える	臨床工学部/小川晋平
第66回 日本糖尿病学会年次学術集会	5月12日	鹿児島県	糖尿病合併血透析患者の透析導入前の特徴と導入後の生命予後	透析室看護師/村木孝行
第13回 高知県臨床工学会	6月11日	高知県	DCS-100NXモニタリング機能であるLDQbと二プロ社製透析モニターHDQ2の脱血不良時の反応性	臨床工学部/秦泉寺和幸
第68回 日本透析医学会学術集会・総会	6月16日	兵庫県	Phase angle(位相角)と年齢の関係性について	臨床工学部/小川晋平
			A病院透析室看護師における新型コロナ感染症患者患者の対応に対する意識調査 対応スタッフ確保への取り組み	透析室看護師/國澤香織
	6月17日	兵庫県	透析低血圧に対する空気パンツ血圧制御装置の有効性の評価	臨床工学部/濱田あすか
	6月18日	兵庫県	後希臘OHDFにおけるMFX-21SWecoの性能評価	臨床工学部/細川和宣
第46回 高知糖尿病チーム医療研修会	6月25日	高知県	作業療法士の介入による入院患者の行動改善の検討～糖尿病合併透析患者について～	リハビリテーション部/山本美保
第184回 糖尿病教室	7月8日	高知県	シックティと葉	薬剤部/田中聖子
第3回 高知腎臓病療養指導セミナー	7月13日	高知県	CEの考える透析患者の血清リン	臨床工学部/濱田あすか
第33回 日本臨床工学会	7月21日	広島県	オシログラフを用いた透析患者の体液量評価	臨床工学部/橋本宗樹
第32回 徳島大学泌尿器科同門会(通称:TEKK)学術講演会	7月29日	高知県	高知高須病院の腎代替療法選択への取り組み	医局/大田和道
第19回 日本医療マジストン学会 高知県支部学術集会	8月27日	高知県	認知症ケアチーム活動報告	病棟看護師/弘田竜也
第5回 在宅サービス関係者のための地域医療勉強会	9月8日	高知県	薬物療法中の糖尿病患者の注意点	医局/吉本幸生
第57回 四国透析療法研究会	9月17日	徳島県	認知症患者が外来通院透析を継続する為に～サポート体制の充実を目指して～	透析室看護師/長山恵子
			当院におけるCOVID-19感染症の総括	医局/大田和道
			VIABAHN®ステントグラフト留置によるAVGの開存率および治療効果の検討	臨床工学部/上田晃司
さらまめ教室	10月21日	高知県	運動はどうして必要な?	リハビリテーション部/島崎由宇
高知INST研究発表会	10月21日	高知県	透析患者の在宅移行に向けた、入院時からの栄養管理について	栄養部/福垣梨香子
日本糖尿病学会中国四国地方会 第61回総会	10月27日	島根県	当院における糖尿病合併 透析患者の下肢切断の実態	透析室看護師/松本有里
第13回 中四国臨床工学会	10月28日	鳥取県	Air pressure pants 血圧制御装置は透析低血圧予防に有効か	臨床工学部/濱田あすか
			日換装社製BV計を用いたシャント再循環率測定精度の向上を目指して	臨床工学部/石井亮介
	10月29日	鳥取県	VIABAHN®ステントグラフトはAVGの開存率とVA機能を改善するか	臨床工学部/仙頭正人
第29回 日本血液透析瀦過医学会	11月26日	大阪府	後希臘OHDFを20年間施行した症例の推移	臨床工学部/小川晋平
第29回 日本腹膜透析医学会 学術集会・総会	11月26日	東京都	APD装置の機種変更に難渋した一症例	臨床工学部/濱田あすか
			シェアソースアリティクス1.0の使用経験	臨床工学部/山本加奈
第2回 CKD情報交換会	12月13日	高知県	糖尿病性腎症の重症化予防について	医局/吉本幸生

尚腎会

2024年2月の診療実績

- 外来患者数／2,922人 ○紹介患者率／24.1% ○新入院患者数／110人
- 退院患者数／106人 ○平均在院日数／13.9日 ○病床利用率／74.6%



■院内広報誌「ふれあい」vol.111 ■発行日／2024年4月20日
 ■発行所／高知高須病院 高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377
 ■http://www.takasuhp.or.jp ■発行人／池辺弥夏 ■編集／広報委員会
 ■印刷所／(有)三宮印刷 高知市潮新町2-14-8

右記のQRコードにより、
高知高須病院の携帯
サイトに簡単アクセス!

クラブ活動報告 大会成績

ゴルフ部

【第50回 TEAMきずな杯】

- 日時／2024年1月27日(土)
- 場所／Kochi黒潮カントリークラブ(太平洋・暖流コース)
- 優勝 沼田明(名誉院長)
- 準優勝 堀川健太(管理部)
- 3位 西川広(運転手)
- 4位 和田健夫(ゲスト)
- 5位 高野里紗(ゲスト)

【第51回 TEAMきずな杯】

- 日時／2024年3月2日(土)
- 場所／Kochi黒潮カントリークラブ(太平洋・暖流コース)
- 優勝 和田健夫(ゲスト)
- 準優勝 中野知夏(ゲスト)
- 3位 宮間大祐(ゲスト)
- 4位 堀川健太(管理部)
- 5位 中村章一郎(名誉院長)

ご出産おめでとう



透析室
新地めぐみ(しんちめぐみ)
2023年7月28日生まれ
美心(みこ)ちゃん

編集後記

木々の新緑が春光に映える季節になりました。

今月のトピックスは泌尿器特集です。泌尿器科の活躍を紹介しています。是非読んでみて下さい。新年度のスタートの4月。チャレンジ精神をもって新たな気持ちで頑張ってまいります。(広報委員 山脇)

ふれあい

高知高須病院 院内広報誌

4月号
2024
vol.111



Takasu Topics

泌尿器科手術 より安心で安全な治療を



目次

- KAIZEN 発表大会
- すすめエッセイ
- チームで取り組む糖尿病診療
- ニューフェイス紹介
- 分院だより
- 学会・研究会等発表実績
- 慰靈祭
- クラブ活動報告
- 高知龍馬マラソンに初挑戦!
- ご出産おめでとう

理念 患者の良き理解者、援助者となり、
より良い医療を提供します

1. 患者の立場を理解し、暖かい心、豊かな心で、患者さんの立場に立った医療を実践します
2. たゆみない知識の習得と技術の向上に心がけ、患者さんに還元します
3. 清潔で快適な環境を提供します
4. 柔軟性を持って、互いの連携と協調に努めます
5. 情報の確保に努め、進取の精神を持って創造と実践を心がけます

実績積み重ね より安心で安全な泌尿器科治療を

最新医療技術を導入し地域医療へ貢献していく

高知高須病院 副院長
松下 和弘(まつした かずひろ)

1989年 徳島大学卒
2006年 腹腔鏡技術認定医
2017年 ロボット支援手術プロクター認定医



当院における泌尿器科手術に関しては、創立時より低侵襲手術に積極的に取り組んできた歴史があり、体外衝撃波尿路結石破碎装置(ESWL)やホルミウムレーザー前立腺核出術(HoLEP)などを県下で先駆けて導入してきました。

近年では、手術支援ロボット「ダビンチ」を導入し精力的に取り組んでいます。高齢社会などの影響で泌尿器科疾患は今後ますます増加することが予想され、当院が果たすべき使命も必然的に大きくなります。これからも最新の医療技術を導入し、地域医療への貢献を継続したいと考えています。

ホルミウムレーザー手術

ホルミウムレーザーは泌尿器科手術に非常に効果的で安全性の高いレーザーです。当院では2006年に導入し、四国で初めてホルミウムレーザー前立腺核出術(HoLEP)を実施しました。

現在は最新型ホルミウムレーザー発生装置2台がフル稼働しています。

【前立腺治療】

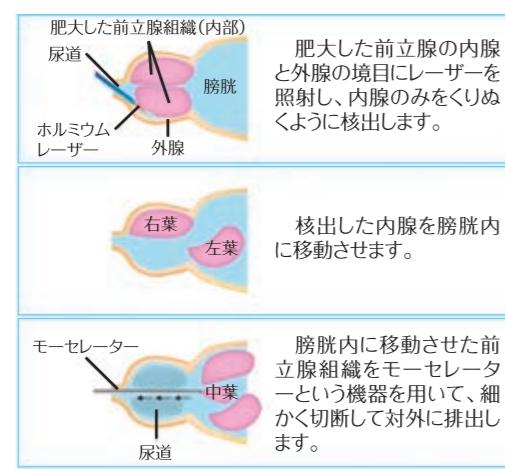
ホルミウムレーザー前立腺核出術(HoLEP)は経尿道的に肥大した腺腫をレーザーでくり抜いて取り除く、最も理想的な低侵襲手術ですが、昨年には1000件を突破しました。

本術式は、他の手術方法では対応不可能な非常に大きな肥大症に対しても可能です。



【結石治療】

経尿道的尿路碎石術(TUL)は内視鏡的に結石を破碎して除去する方法で、現在は結石治療の主流となっている術式ですが、昨年1500件を突破しました。



2006年 HoLEP 四国初実施!

- ホルミウムレーザー前立腺核出術(HoLEP)実施件数 1000件突破
- 経尿道的尿路結石碎石術(TUL) 実施件数 1500件突破

2015年 四国内民間病院でダビンチ初導入!

- ロボット支援前立腺全摘除術 実施件数 300件突破
- ロボット支援腎尿管全摘除術・ロボット支援腎盂形成術を開始

ロボット支援(ダビンチ) 手術

ロボット支援手術とは、医師が医療用ロボットを操作しておこなう手術です。出血量が少ないと、傷口が小さいこと、術後の回復が早いことなどの利点があります。

手術には高い技術が必要です。当院では認定ライセンスを受けた医師とロボット手術チームが担当しています。



高須ダビンチチーム

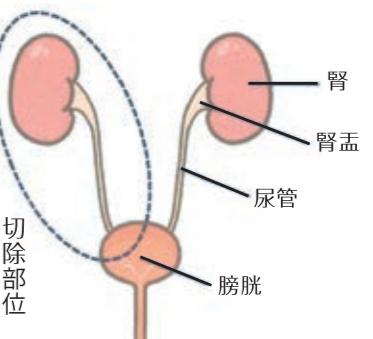
【ロボット支援前立腺摘除術】

前立腺がんの患者数は急増しており、男性がんの第一位になっています。転移のない前立腺がんに対しては、ロボット支援前立腺摘除術が現在では最も強力な治療法です。昨年には実施件数が300件を突破しました。



【ロボット支援腎尿管全摘除術】

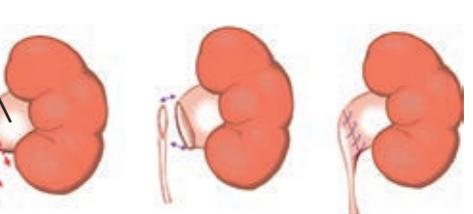
腎尿管全摘除術は腎孟尿管がんに対する標準的手術ですが、ダビンチを用いることで、従来の腹腔鏡手術よりも安全で確実な手術が可能です。



【ロボット支援腎盂形成術】

腎孟尿管移行部狭窄症の狭窄部位を切除し新たに吻合する術式です。

ダビンチを用いることで繊細で正確な形成術が可能です。



第12回 KAIZEN 発表大会

コロナ禍中も各部署では地道にKAIZENを行っていましたが、4年ぶりに開催された院内KAIZEN発表大会、今年は臨床工学部「医療機器専属チーム」が最優秀賞を受賞しました。おかげで医師の働き方改革をすすめるため臨床工学技士がKAIZENに取り組みましたので紹介します。

2021年10月に法改正が行われ、今年の4月より開始される医師の時間外労働規制に向け、「医師の働き方改革」が講じられました。私たち臨床工学技士も、医師の負担軽減の一助となるため、更なる業務の拡大と専門性の発揮が求められています。

KAIZEN発表大会にて、最優秀賞とご評価いただきありがとうございます。

MRI超音波融合画像ガイド下前立腺生検のタスクシフトを目指して

臨床工学部 主任 和田 尚也(わだ なおや)

二兎を追うモノだけが二兎を得る

2021年10月に法改正が行われ、今年の4月より開始される医師の時間外労働規制に向け、「医師の働き方改革」が講じられました。私たち臨床工学技士も、医師の負担軽減の一助となるため、更なる業務の拡大と専門性の発揮が求められています。

KAIZEN発表大会にて、最優秀賞とご評価いただきありがとうございます。

医師2名体制で実施されていた前立腺生検検査ですが、松下副院長よりお声掛けを頂き、2022年7月より執刀医の指示の下、臨床工学技士がエコー操作による手術補助を行う形でのタスクシフトが実現しました。

この新たな業務の確立に向け、部内の体制変更は必要となりましたが、手術室出入りする臨床工

医師の業務負担軽減が達成できました。この新たな業務の確立に向け、部内の体制変更は必要となりましたが、手術室出入りする臨床工

医師の業務負担軽減が達成できました。

医



末廣先生: 前列 右から3人目

末廣先生
ありがとうございました

【末廣正先生の紹介】

2002年6月に非常勤医として当院に着任、糖尿病内科外来を開設され、2009年1月からは常勤医となる。その後2カ月後には当院で糖尿病教室を開催された。

その後も料理教室やI型糖尿病患者の集いなど活動を拡大。学会や研修会、CDEJ、LCDEの育成など数々のチーム医療に関する取り組みの中心となられ、糖尿病患者や医療従事者のために尽力されました。

チームで取り組む糖尿病診療 ～末廣先生の教えを胸にチーム医療を継続していく～

外来主任 島田 美知代(しまだ みちよ)

当院の糖尿病チームの活動についてご紹介します。

糖尿病診療で医師と共に関わる「日本糖尿病療養指導士」。当院は県下で最も多く26人が在籍する施設です。さらに「高知糖尿病療養指導士」も加わり、糖尿病治療に多くのコメディカルが参画しています。

コロナ禍で一時中断していましたが、今年になり糖尿病教室も再開されました。コロナの状況により中止を余儀なくされる場合もありますが、多くの方に参加して頂きたいと思います。

糖尿病チームは、毎週定例会を開催し、糖尿病教室の運営や、研修会、糖尿病に関連する新しい情報の共有など、患者さんへ還元できるように多職種で日々自己研鑽に取り組んでいます。

また高知県糖尿病保健指導連携体制構築

事業で、高知県立大学の教職員と13施設の高知県血管病調整看護師(当院看護師5人)が協働して重症化ハイリスク者のスクリーニングにも参加しました。

2024年3月に退職された末廣正先生からは、「糖尿病診療は医師だけでは限界があり、チームで患者さんに関わる事、チーム医療が大切であること」を教えて頂きました。今後も多職種でのチーム医療を継続していきたいと思います。末廣先生、長い間、高知県の糖尿病診療に貢献して下さい、ありがとうございました。

糖尿病に関して相談のある方は、各部署に糖尿病チームメンバーがおりますので、お気軽に声を掛けて下さいね。



糖尿病教室は奇数月の第1土曜日 14時から16時に開催しています。

興味のある方はぜひご参加ください。

お問い合わせ先/088-878-3377(糖尿病内科外来)

分院 だより

地域での生活を支えたい ～訪問看護ステーションあき～

訪問看護ステーションあき 管理者 西岡 みわ(にしおか みわ)

んだり、季節の移り変わりを感じたりしながら日々ケアを行っています。スタッフも限られた訪問時間を大切に、次の訪問まで安心して過ごす事が出来るようにと心がけています。

訪問看護ではご本人やご家族の気持ちに寄り添いながら、主治医や医療・福祉の関係機関の方々と共に地域での療養生活を支えています。

当ステーションがある安芸市では「人生の最期を選択できるまちづくり」に取り組んでおり、様々な職種のネットワークが出来ています。「住み慣れた家に帰りたい、居りたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」というそれぞれの思いや幅広い年齢層の方に出会う中で、私自身、人生観や死生観、看護観の厚みが増すような人生勉強をさせていただいております。

また、育児支援では赤ちゃんの成長を共に喜

■住所/〒784-0005 安芸市港町2丁目635 ■電話/0887-32-0252 FAX/0887-34-1652
■営業時間/月曜～金曜 8:30～17:30 ■休日/土曜・日曜・祝日・12月31日～1月3日
■実施地域/安芸市・芸西村・安田町・田野町・奈半利町・馬路村・北川村・東洋町・室戸市

休日の訪問・実施地域など、お気軽にご相談下さい

2月17日(土)心月記にて、要法寺ご住職のもと慰靈祭を執り行いました。当法人では毎年お亡くなりになられた患者さんの慰靈祭を行っていましたが、新型コロナ流行により4年ぶりの開催となります。

参列者は12家族22人のご遺族と、大田和道院長はじめ職員29人が参列し、故人のご冥福をお祈りさせていただきました。

ご遺族から「本当に世話をになりました。」と挨拶をいただき、ともに故人を偲び思い出話などをして、貴重な時間を過ごすことができました。

最後に、お亡くなりになられた患者さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。



ご遺族とともに：
故人を偲ぶ貴重な時間

病棟部長 筒井 夏子(つつい なつこ)

慰靈祭

高知 龍馬マラソンに 初挑戦

みなさんに
パワーをもらい、
無事ゴール
できました

看護部 副部長 堀井 美智(ほりいみち)

- 今年で10周年の節目となる高知龍馬マラソン。
- 人生で1度は経験しようと思い、夫と参加しました。
- 当法人からは私も含めて7人が出場しましたが、私以外はみなさん経験者でしたので、先輩ランナーから事前に色々な情報を聞くことができました。
- 当日は、あらゆるデバイスを携帯し、準備万全で臨んだのですが、20℃を越える暑さは想定外でした。5キロ地点ではすでに暑さでバテ気味でしたが、大田和道院長をはじめ、スタッフの方々、友人や家族も応援にかけつけてくれていてパワーをもらいました。
- 20キロ地点の浦戸大橋は最大の難所とも言われていますが、本当にきつかったです。何とか渡り終え、花街道へ。雄大な太平洋が広がっていました。
- とてもきつかった42.195kmでしたので、完走できた時の喜びはひとしおでした。みなさんも、一度挑戦してみてはいかがですか?



スタート前 笑顔で集合写真(堀井副看護部長:一番右)

たが、眺める余裕もないまま次の給水所を目指にひたすら進みました。おもてなしのゆずジュースやナスゼリーはとてもおいしかったです。

25キロを過ぎた辺りから折り返しランナーが見えてきましたが、折り返し地点まではとても長く感じました。30キロ辺りからは足の痛みも出てきて、何度も心が折れそうになりながらも足をすすめ、ラスト10キロ。「おかげで。よう頑張ったね!」という、温かい声援に涙が出そうになりました。そして春野競技場への最後の坂。力をふりしぼり、なんとか無事ゴールすることができました。

とてもきつかった42.195kmでしたので、完走できた時の喜びはひとしおでした。みなさんも、一度挑戦してみてはいかがですか?



すすめエッセイ 02

総合診療科のすすめ

高知医療センター・高知高須病院 名誉院長 堀見 忠司(ほりみ ただし)



総合診療科とは?

一言で言えば、全ての科に対応する診療科で、対応できない場合は、すぐに対応できる医師を紹介する科です。最近、専門化・細分化した現代医療の中で、自分の専門診療科にこもり、他の診療科には全く無知識・無関心となり、「自分はその専門ではないので、診れない」と言うようになっている今日、日本の医学界では、2018年度より「新専門医制度」において、総合診療専門医が新設され、一つの専門領域として認知されました。

したがって総合診療科医は、いわゆる「一般内科医」や「家庭医」とは少し異なり、決して内科系診療ばかりではなく、現在はメスをおいて内科診療に専念している元外科医師なども適任であろうと考えられます。

ここに誕生した総合診療科は、高度専門医を必要とする疾患を予防するために、生活習慣のみならず日常よくある多くの内科的な病気をはじめ、外科系診療科にもある程度精通し、火傷や軽度な外傷などの小外科的疾患にも対応できる医師として、または病気の専門医師を紹介してくれる医師であり、1次や2次の救急医療、漢方医療、へき地医療、軽度な皮膚疾患などもその診療範囲に入ってくるでしょう。

つまり総合診療科は今後一般臨床の専門医として内科とか外科とかの境界を超越した存在になることが予想され、日本の高齢化社会の進行によって、その存在意義が大きくなっています。

総合診療科は毎週火曜・木曜の午前中に診察しています。



ニューフェイス紹介

2023年12月16日～2024年2月16日

①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載



病棟 看護師
平山 美陽(ひらやまみよう)
①食べる事
②院内が広く清潔感があり、温かい印象を持ちました。
③新たな場所で少し不安もありますが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



臨床工学部 臨床工学技士
嶋澤 勇成(しまざわ ゆうせい)
①スノーボード、ゲーム
②透析に特化している印象でしたが、外来も大きく今まで経験を生かしていきたいです。
③人と話すことが好きで、患者さんとコミュニケーションをとることが得意です。



車輛 運転手
一圓 和明(いちえん かずあき)
①ゴルフ
②大変きれいでも優しく親しみやすく働きやすい仕事場だと思いました。
③何事も楽しく前向きに行動するタイプだと思います。



車輛 運転手
森 賢一(もりけんいち)
①バスケットボール・高校野球観戦
②院内が広く清潔感もありゆったりした雰囲気のある印象。
③救急救命士のスキルを活かし、送迎利用者様の体調急変時は即時に対応いたします。



臨床支援課 MA
北村 優佳(きたむら ゆか)
①旅行、美味しいごはんを食べる
②明るく、きれいな雰囲気で、清潔を感じました。
③少しでも早くお役に立てるよう努力してまいります。よろしくお願い致します。



安芸診療所 看護師
牛窓 順沙(うしまど なぎさ)
①ゲーム、アニメ鑑賞
②初めての転職で不安もありましたが、教育体制が整っていたり雰囲気も良いと感じました。
③透析は初めてですが、日々学習と経験を積み患者さんや職場に貢献できるよう頑張ります。